

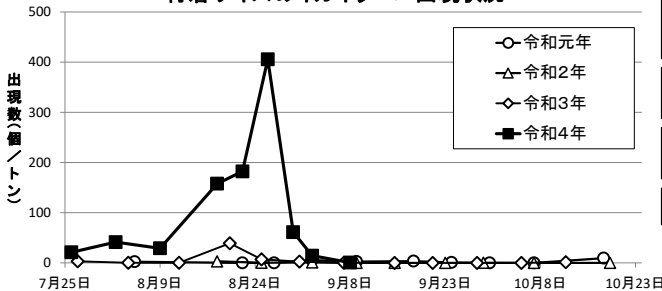
◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

サロマ湖 4 地点で付着生物のラーバ調査を行った結果、イガイ(シュウリガイ)ラーバは 160~180 μ m の小型個体を中心に平均で 208 個/トン出現していました。260 μ m 以上の付着サイズは 1 個/トン出現しており、前回よりも減少しました。

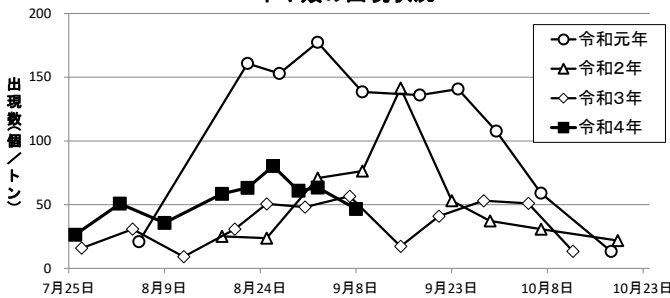
ホヤ類(エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ)のラーバは 47 個/トン出現しており、前回よりも減少しました。

次回は9月13日(火)に実施予定です。

付着サイズのイガイラーバ出現状況



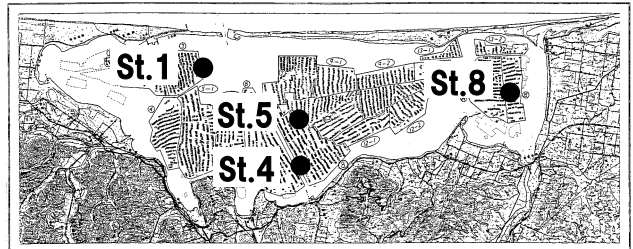
ホヤ類の出現状況



イガイラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	25.5	43.8	22.3	58.3	37.5
150 ~ 160	7.0	46.7	29.8	40.8	31.1
160 ~ 170	20.9	64.2	29.8	46.7	40.4
170 ~ 180	46.4	52.5	44.7	29.2	43.2
180 ~ 190	9.3	8.8	18.6	23.3	15.0
190 ~ 200	27.8	14.6	7.4	5.8	13.9
200 ~ 210	16.2	0.0	0.0	11.7	7.0
210 ~ 220	13.9	11.7	3.7	17.5	11.7
220 ~ 230	2.3	0.0	0.0	11.7	3.5
230 ~ 240	2.3	0.0	3.7	0.0	1.5
240 ~ 250	0.0	0.0	3.7	5.8	2.4
250 ~ 260	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
260 ~ 270	2.3	0.0	0.0	0.0	0.6
270 ~ 280	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
280 ~ 290	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	173.9	242.1	163.8	250.9	207.7
200 μ m以上	37.1	11.7	11.2	46.7	26.7
	21.3%	4.8%	6.8%	18.6%	12.8%
260 μ m以上	2.3	0.0	0.0	0.0	0.6
	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
ホヤ類	9.3	56.9	86.6	33.6	46.6

付着物ラーバ関連調査地点図



◎サロマ湖水質状況

9月8日に湖内中央部ブイ5の水温(°C)、溶存酸素(mg/L)、塩分(‰)を測定しました。

その結果、水温は全層で 22°C を下回っていました。

溶存酸素は底から水深 16m までで 5 mg/L を下回っていました。

塩分は全層で 33‰ 以上ありました。

